

## 選書ツアー 特集

### あなたが選ぶ、図書館の本

今年の冬は寒いですね。でもこの時期の図書館は、学期末の試験やレポートに取り組む学生さんの静かな熱気が感じられます。

さて、図書館では、昨年12月に紀伊國屋書店新宿本店で学生選書ツアー2017-あなたが選ぶ図書館の本-を行いました。

本号では、選書ツアーに参加した8名の学生さんたちが選んだ本を紹介します。参加してくださったみなさんは自分の学習に必要な本だけでなく、ともだちや後輩のために図書館に必要なと思う本をたくさん選んでくれました。

参加してくれた学生のみなさん、ありがとうございました♪

本号を見て、選書ツアーに興味を持った方、次回にぜひご参加ください♪

## お知らせ

### ブックログで紹介中

選書ツアーで選ばれた全189冊を、コメントつきで紹介しています。

みんなの力のこもった、あついコメント、ぜひチェックしてください!

<http://booklog.jp/users/gakugeilib>

図書館HPトップにバナーもありますよ♪

### 図書館1階で展示中

図書館1階では、みんなが作ったポップつきで本を展示中。展示中の図書はすべて、貸出もできますよ♪

↓↓ ブクログ



## 図書館システムの更新に伴う休館日 ならびに各種サービス停止のお知らせ

### 休館日

平成24年2月20日(月)~21日(火), 27日(月)

※上記期間に加え、大学入試に伴い、2月24日(金)~26日(日)についても休館となります。

また、カウンターサービス、館内PCの利用、文献の取り寄せなどが停止になる期間がありますので、詳細は附属図書館のウェブサイトをご覧ください。

## ●選書ツアー参加者インタビュー●

### 今回の参加の動機は?

図書館はよく来るんですけど、資料が足りてないなあと思って、選書ツアーなら自分の好きな本が入れられるかなと思って。やっぱり図書館は資料が豊富な方がいいですからね。

### 自分に必要な資料を選びたかった?

もちろんそれもありますけど、それだけではなくて、自分の所属している専攻の後輩が使ってくれるといいなと思った資料を選びたいというのがありますね。

### ツアーに参加してみたの感想は?

まず全体的には参加してよかったなと思います。普段みることのない棚を見ることで新しい本との出会いがありました。インターネットで探すと、自分の興味のある分野の本だけを探してしまう。本屋だとたくさんの本が目に入るので選択肢が自然と広がります。

私の専門は、日本経済やアジア経済で、普段はその分野の本を中心にみるのですが、今回はヨーロッパの産業などの分野もみることができました。

### ポップ作成の感想は?

ポップづくりは楽しかったのだけど、自分にはセンスがないなと思いました。とくにデザインのセンスがないので、コメントのインパクトで勝負しました。写真などを使用できたらデザインの作成が楽だったかなと思います。

### 選書ツアーへの要望は?やってみたい選書ツアーは?

ツアーで行った書店に置いてなかった本も、あとで取り寄せられる仕組みが欲しいなと思いました。

あと、他の大学図書館に行って、そこにある本を選んで、あとで学芸大図書館に入れてもらうというツアーがあったらいいなと思います。

your

あなたが選んだ、おすすめの本

selection

選書ツアー参加者が選んだ本を紹介します。  
掲載されている本は1Fエントランスで展示中  
(展示期間:2012年1月~2月14日)

『Java 言語で学ぶデザインパターン入門』  
結城浩著

GoFのデザインパターンをわかりやすく簡潔にまとめた1冊。入門書+α程度のJavaの知識があれば読める。  
この本でデザインパターンの基礎を頭に入れて、その後GoF本を読むのも良いだろう。

『サボる時間術』  
理央周著

仕事に追われずに、限られた時間で成果を最大化するためには…まず「サボる時間」を確保すべし!上手にサボることができる人は人生を有意義なものにできる人です。

『新地域産業論:産業の地域化を求めて』  
伊藤正昭著

現在の日本において都市と地方の経済的格差が広がりつつある中で、地方には地方ならではの産業が求められている。産業面から地方活性化というものを考える上で、幅広いテーマについて書かれているので、非常に優れた一冊であると思う。

『世界一かんたんな手作りお菓子』  
主婦の友社著

お菓子作りの初心者のための本です。私自身もお菓子を作りたいと思っていましたが、始めるきっかけがありませんでした。この本をきっかけにしてお菓子作りに励みたいと思います。

『ハローキティの英語で紹介する日本』  
桑原功次著

内容もなかなか濃いです。外国人のプレゼントにも喜ばれそうです。

『マックスウェルの悪魔:確率から物理学へ』  
都筑卓司著

つい最近マンガ化もされた、物理学の内容を初めて読む人にもわかりやすく伝える不朽の名著。ついに東京学芸大学附属図書館にも見参す!

『その英語、ネイティブにはこう聞こえます:お風呂で覚える英会話』  
デイビッド・セイン:小池信孝

自分が勇気を出して、せっかく英語ネイティブの前でしゃべった英語がなかなか通じなかったことを経験したことが誰でもありますよね。その時の英語は実はそうだったはず。

『われ日本海の橋とならん:内から見た中国、外から見た日本-そして世界』  
加藤嘉一著

中国で「もっとも有名な日本人」となった著者が、内側から見た人しかわからないリアルタイムの中国を語ります。これからの日本を考える上で、中国を知ることがもっと重要になってくる。未来を生きる若者にとっての必読書。

別紙リストにツアーで選ばれた本  
全189冊の一覧が  
記載されていますので、  
そちらも是非ご覧ください!